

株式会社パッケージ中澤 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年11月1日

株式会社パッケージ中澤
代表取締役 中澤 洋介

- ◆経営方針
創意と開発の炎〜チャレンジする精神を忘れずに、何事にも積極的に取り組む
- ◆目指す姿
社員自らが積極的に考え、行動し、継続的に発展していく会社づくりができる姿

SDGsの達成に向けた取り組み

労働時間の是正・ワークライフバランス

- ・長時間労働、サービス残業を社員全員の共通課題と認識し、労働時間管理を推進します。
- ・社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。

<具体的な取り組み>

サービス残業の禁止、残業代の適正な支払い／法定年次有給休暇の確実な取得／産前・産後休業、育児休業、家族時間取得制度の整備

— 関連ゴール —



地元人材・シニア人材の活用

- ・雇用を通じた地域振興のため、地元人材の活用を推進します。
- ・高齢者が定年を超えても継続して働ける機会を創出します。

<具体的な取り組み>

U・Iターン人材採用に向けた行政との連携／地元高校への採用募集／高齢者の再雇用制度を制定し、シニア人材の専門性・技術ノウハウの継承を行う

— 関連ゴール —



省エネ・節電・プラスチック削減

- ・CO2排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。
- ・プラスチックの削減や適切な利用を推進します。
- ・自社で排出する廃棄分の削減やリサイクル等の活動に努めます。

<具体的な取り組み>

廃棄されるプラスチックの分別回収、リサイクルの推進／製造時に出る端材や廃棄製品を原材料として再利用／LED化の推進／電気フォークリフトの導入

— 関連ゴール —



顧客ニーズの把握

- ・製品・サービスに関する顧客の意見やニーズを積極的に収集し、改善・検討を行う経営を目指します。

<具体的な取り組み>

顧客の声を製品・サービスに反映させる仕組みの構築／毎月全国の顧客の元へ訪問し、対面で情報収集・共有

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

